

平成 26 年度 C 調査問題 中学校 1 年数学 (1)

1 年 () 組 () 番 氏名 ()

※答えはすべて解答用紙に書きなさい。

【1】 次の計算をしなさい。

(1) $-6 + 0.5 \times 4$

(2) $-\frac{1}{3} - \frac{1}{5}$

【2】 下にあげた 4 つの式で、●は、負の数を表わしています。

計算の答えが●の表す数より大きくなるものを、下のア～エの中からすべて選び、その記号を書きなさい。

[ア ● $\times 1.2$ イ ● $\times 0.7$ ウ ● $\div 1.3$ エ ● $\div 0.8$]

【3】 「1 個 a 円の品物を 2 個買ったときの代金は 1000 円より安い。」という数量の関係を表した式が、下のア～オの中にあります。正しいものを 1 つ選びなさい。

[ア $2a \leq 1000$ イ $2a < 1000$ ウ $2a = 1000$]
 エ $2a > 1000$ オ $2a \geq 1000$]

【4】 一次方程式 $4x + 7 = 15$ を次のように解きました。

$$\begin{aligned} 4x + 7 &= 15 && \dots\dots \text{①} \\ 4x &= 15 - 7 && \dots\dots \text{②} \\ 4x &= 8 \\ x &= 2 \end{aligned}$$

①の式から②の式への変形では、7 を右辺から左辺に移項しました。移項してよい理由は、等式の性質をもとに説明できます。

7 を移項してよい理由として正しいものを、下のア～エの中から 1 つ選びなさい。

[ア ①の式の両辺に 7 をたしても等式は成り立つから、移項してよい。
 イ ①の式の両辺から 7 をひいても等式は成り立つから、移項してよい。
 ウ ①の式の両辺に 7 をかけても等式は成り立つから、移項してよい。
 エ ①の式の両辺を 7 でわっても等式は成り立つから、移項してよい。]

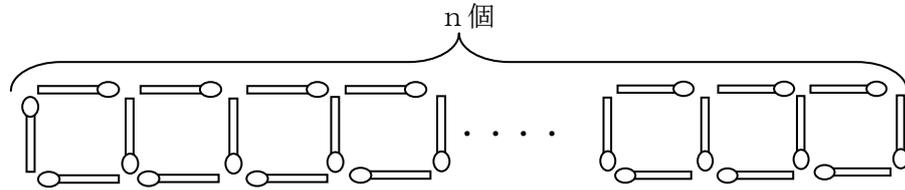
【5】 次の計算をしなさい。

$3a - 1 - 2(a - 5)$

平成 26 年度 C 調査問題 中学校 1 年数学 (2)

1 年 () 組 () 番 氏名 ()

【6】下の図のように、マッチ棒をならべて正方形の形を n 個 つくります。



このとき、マッチ棒全部の本数を n を使って表しなさい。

【7】あるサッカー大会では、5 チームが他のチームと 1 回ずつ試合をし、下の表のような結果になりました。



	勝った試合数	負けた試合数	引き分けた試合数
P チーム	2	2	0
Q チーム	3	1	0
R チーム	2	0	2
S チーム	0	3	1
T チーム	1	2	1

この大会では、次のようにして順位が決められました。

【順位の決め方】

1 試合ごとに勝ったチームに 3 点、負けたチームに 0 点、引き分けたチームに 1 点ずつ与え、合計点数の多いチームを上位として順位をきめる。

したがって順位は、勝った試合数を a 、引き分けた試合数を b とするとき、 $3a + b$ の値で決まる。

(1) この大会の順位について、下のア ~ ウ の中から正しいものを 1 つ選んで、その記号を書きなさい。

ア この大会での 1 位は、Q チームである。

イ この大会での 1 位は、R チームである。

ウ この大会での 1 位は、Q チームと R チームの両チームである。

たかしさんは、【順位の決め方】を変えると順位が変わることに気付きました。

【たかしさんが考えた順位の決め方】

1 試合ごとに勝ったチームに 2 点、負けたチームに 0 点、引き分けたチームに 1 点ずつ与え、合計点数の多いチームを上位として順位をきめる。

したがって順位は、勝った試合数を a 、引き分けた試合数を b とするとき、 $2a + b$ の値で決まる。

(2) たかしさんが考えた順位の決め方だと、Q チームと R チームが同点で 1 位になることを、式やことばを使って説明しなさい。

平成 26 年度 C 調査問題 中学校 1 年数学 (3)

1 年 () 組 () 番 氏名 ()

【8】次の問題について考えます。

<問題>

家から 2000m 離れた駅に向かって、妹が家を出発しました。兄が妹の忘れ物に気付いて、妹が出発してから 10 分後に、同じ道を自転車で追いかけてきました。

妹は分速 80m、兄は分速 240m で進むとすると、兄が妹に追いつくのは兄が出発してから何分後ですか。

(1) 兄が出発してから x 分後に妹に追いつくとすると、妹に追いつくまでに兄が進む道のりは $240x$ m と、文字を用いた式で表すことができます。

兄に追いつかれるまでに妹が進む道のりを x の文字を用いた式で表しなさい。



(2) 兄が妹に追いつくのは、兄が出発して何分後か求めなさい。

(3) 問題の中に「兄が妹の忘れものに気付いて、妹が出発してから 10 分後に、同じ道を自転車で追いかけてきました。」とありますが、「妹が出発してから 10 分後」でなく、「妹が出発してから 20 分後」に追いかけたとします。

このとき、兄が出発してから x 分後に追いつくとすると、 $240x = 80(x+20)$ という方程式をつくることができます。これを解くと、 $x=10$ となりますが、この解は問題にあっていません。その理由を、数やことばを使って説明しなさい。

平成 26 年度 C 調査問題 中学校 1 年数学

解答用紙

1 年 () 組 () 番 氏名 ()

正答数

問 / 12 問

【1】	(1)	
	(2)	

【2】	
-----	--

【3】	
-----	--

【4】	
-----	--

【5】	
-----	--

【6】	
-----	--

【7】	(1)	
	(2)	

【8】	(1)	
	(2)	分後
	(3)	

1 年 () 組 () 番 氏名 ()

正答数

問 / 12 問

【1】	(1)	- 4
	(2)	$\frac{8}{15}$

【2】	イ, ウ
-----	------

両方できて正答

【3】	イ
-----	---

【4】	イ
-----	---

【5】	$a + 9$
-----	---------

【6】	$3n + 1$
-----	----------

$4n - (n - 1)$, $n + n + n + 1$ など, $3n + 1$ と同じ数量を文字式に表していれば正答

【7】	(1)	ア
	(2)	<p>(例) 各チーム $2a + b$ の値を求めると, 次のようになる。</p> <p>Pチーム $2 \times 2 + 0 = 4$</p> <p>Qチーム $2 \times 3 + 0 = 6$</p> <p>Rチーム $2 \times 2 + 2 = 6$</p> <p>Sチーム $2 \times 0 + 1 = 1$</p> <p>Tチーム $2 \times 1 + 1 = 3$</p> <p>QチームとRチームの値が6になり, 他チームの値より大きいので, 両チームが同点で一位となる。</p>

各チームの値

Q, Rチームの値が同じで, 他チームと比べ大きいこと

【8】	(1)	$80(x + 10)$
	(2)	5 分後
	(3)	<p>(正答例)</p> <p>兄が 10 分後に追いついたとすると, 妹のいる地点が家から 2400m 進んだ所となり, 家から駅までの道のりの 2000m をこえてしまうので, 問題にあわない。</p>

兄が追いついたとした時の妹の進む距離

家から駅までの道のりをこえてしまうこと

中学校 1 年数学【1】解説シート

◆出題の趣旨

正の数、負の数の四則計算ができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第1学年 A 数と式

(1) 具体的な場面を通して正の数と負の数について理解し、その四則計算ができるようにする。

ウ 正の数、負の数の四則計算をすること

◆解答類型 (1)

1◎	−4 と解答しているもの	人	%
2	−22 と解答しているもの		
3	−12 と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

(2)

1◎	$-\frac{8}{15}$ と解答しているもの (大きさの等しい分数を含む)	人	%
2	$\frac{1}{2}$ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

文字式や方程式、比例や一次関数などの学習の基盤となる、分数や小数を含む計算指導の充実を図り、確実に計算できるまで定着させましょう。

- 計算の順序を意識して計算することができるように、継続して指導することが大切です。
- 異分母の分数の加法や減法の計算では、形式的に通分の仕方を練習させるだけでなく、通分することによって単位分数の幾つ分として考えられるようにすることが大切です。

中学校 1 年数学【2】解説シート

◆出題の趣旨

小数の計算における乗数と積の大きさ、除数と商の大きさの関係について、理解しているかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第1学年 A 数と式

(1) 具体的な場面を通して正の数と負の数について理解し、その四則計算ができるようにするとともに、正の数と負の数を用いて表現し考察することができるようにする。

イ 小学校で学習した数の四則計算と関連付けて、正負の数の四則計算の意味を理解すること。

◆解答類型

1◎	イ, ウ と解答しているもの	人	%
2	イ と解答しているもの		
3	ウ と解答しているもの		
4	ア, イ と解答しているもの		
5	ア, ウ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

乗数と積の大きさ，除数と商の大きさを調べる活動を位置付けましょう。

- 数直線や図などを用いたり，具体的な場面に当てはめたりして数量の関係をとらえられるように，乗数と積の大きさ，除数と商の大きさを調べる活動を位置付けましょう。
- 正の数や負の数についての計算の意味が正しく理解できているか，負の数における大小関係が正しくとらえられているかを確認しましょう。

中学校 1 年数学【3】解説シート

◆出題の趣旨

数量の関係や法則などを式に表現したり式の意味を読み取ったりすることができるかをみる。
・数量の大小関係を不等式に表すことができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第1学年 A 数と式

- (2) 文字を用いて数量の関係や法則などを式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を培うとともに，文字を用いた式の計算ができるようにする。
- エ 数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解し，式を用いて表したり読み取ったりすること。

◆解答類型

1	ア と解答しているもの	人	%
2◎	イ と解答しているもの		
3	ウ と解答しているもの		
4	エ と解答しているもの		
5	オ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

式の表現と言葉の表現を関連付ける活動を取り入れましょう。

- 事象において比べようとする数量に着目し，それらを数や文字を用いた式で表し，不等号を用いて数量の大小関係を適切に表すことができるようにしましょう。
- 数量の大小関係を事象と関連付けて式の意味を理解することが大切です。
例えば， $2a > 1000$ ， $2a = 1000$ などと誤って解答した例を取り上げ，これらの式と $2a < 1000$ について $2a$ と 1000 の大小関係を確認し，「1個 a 円の品物を2個買ったときの代金」と「1000円」との関係を言葉で表現するといったように，式の表現と言葉の表現を関連付ける活動を取り入れることが考えられます。

中学校 1 年数学【4】解説シート

◆出題の趣旨

計算の意味を理解し、それらを適切に用いることができるかどうかをみる。
・方程式を解く際に、等式の性質の使い方について理解しているかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第 1 学年 A 数と式

(3) 方程式について理解し、一元一次方程式を用いて考察することができるようにする。
イ 等式の性質を基にして、方程式が解けることを知ること。

◆解答類型

1	ア と解答しているもの	人	%
2◎	イ と解答しているもの		
3	ウ と解答しているもの		
4	エ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

手続きの理由や根拠を明確にして理解を深めましょう。

- 一元一次方程式を解く際に、移項を形式的に行うだけでなく、等式の性質が移項の根拠になっていることを理解できるようにすることが大切です。
- 2, 3 学年において学習する方程式の解き方について、それまでに学習した考え方を基にして、生徒が発見していけるような展開を工夫しましょう。

- ① 1 学年の「方程式」で学んだ移項の根拠となる等式の性質の学び直しの場合を設けて、「連立方程式」や「二次方程式」の授業を展開していきましょう。
- ② 「連立方程式」では、文字を 1 つ消去することで、1 学年で学んだ一元一次方程式に帰着できることや、消去する際に等式の性質を利用していることなどを意識させましょう。
- ③ 「二次方程式」では、平方根の考え方に帰着させることによって解を求める見通しがもてることを、単元を通して意識させましょう。

中学校 1 年数学【5】解説シート

◆出題の趣旨

関係や法則を式に表現したり式の意味をよみとったりすることができるかをみる。
・文字式の加法と減法の計算をすることができるかどうかみる。

◆学習指導要領との関連

第 1 学年 A 数と式

(2) 文字を用いて関係や法則を式に表現したり式の意味をよみとったりする能力を養うとともに、文字を用いた式の計算ができるようにする。
ウ 簡単な一次式の加法と減法の計算ができること。

◆解答類型

	解答類型	人	%
1◎	$a + 9$ と解答しているもの		
2	$a - 11$ と解答しているもの		
3	$a - 6$ と解答しているもの		
4	$a + 4$ と解答しているもの		
5	a など、解答が a の項だけのもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

分配法則の意味を理解し、正しく用いることができるようにしましょう。

- 文字式の計算では、計算過程において分配法則を適用するなどして、正確に計算することが大切です。さらに、計算過程を見直すだけでなく、計算結果を確かめる方法を理解することが大切です。文字式の計算結果の正誤を、具体的な数を代入して確かめることができるようにしましょう。
- 文字式の計算をすることだけになりがちですが、文字式の意味を理解し、問題解決に使えるようにするために、文字を用いた式で数量及び数量の関係をとらえ説明する活動等を取り入れましょう。

中学校 1 年数学【6】解説シート

◆出題の趣旨

文字を用いて事象の数量の関係を式に表すことができるかどうかをみる

◆学習指導要領との関連

第1学年 A 数と式

(2) 文字を用いて数量の関係や法則などを式に表現したり式の意味を読みとったりする能力を培うとともに、文字を用いた式の計算ができるようにする。

エ 数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解し、式を用いて表すことを理解し、式を用いて表したり読み取ったりすること

◆解答類型

	解答類型	人	%
1◎	$3n + 1$ と解答しているもの (同値ならば $4n - (n - 1)$, $n + n + n + 1$ 等も可。)		
2	$4n$ と解答しているもの		
3	$3n$ と解答しているもの		
4	$3n + 2$ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

事象における数量やその関係を一般的に把握するために、数量の関係や法則などを文字式で表すことができるようにしましょう。

○ 文字と数の行き来を繰り返し行いましょう。

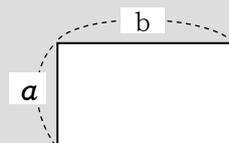
文字式を理解したり用いたりすることは、数学学習の基盤ですが、生徒にとって教師が考える以上に高いハードルであることを前提に、丁寧に指導しましょう。指導にあたっては、文字の学習の学び直しを位置付けながら、具体（数）と抽象（文字）の行き来を繰り返すことで、文字のもつ意味、特に変数の意味を理解できるようにすることが大切です。

(問) 正方形 n 個のとき
マッチ棒の本数は？

その際、数と文字をすぐにつなぐのではなく、言葉の式に表したり、○や□などの記号に表したりしながら、文字のもつ一般性について丁寧に取り扱い、理解できるようにしましょう。

1個	$3 \times 1 + 1$	変わらない部分 はどこだろう。
2個	$3 \times 2 + 1$	
3個	$3 \times 3 + 1$	
n 個	$3 \times n + 1$	$3 \times (\text{個数}) + 1$
⋮		$3 \times \square + 1$

また、下のような図において、文字に表された式の意味を考える場面は、文字式の理解を深めるのに有効です。



【問】 縦の長さが a 、横の長さが b の長方形があります。このとき、 $2(a + b)$ は、何を表していますか。アからオの中から一つ選びましょう。

- ア 長方形の面積
- イ 長方形の面積の2倍
- ウ 長方形の周の長さ
- エ 長方形の周の長さの2倍
- オ 長方形の対角線の長さ

中学校1年数学【7】解説シート

◆出題の趣旨

事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明することができるかをみる。また、問題の条件を変えるなどして発展的に考え、見いだした事柄を数学的に表現できるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第1学年 A 数と式

(2) 文字を用いて数量の関係や法則などを式に表現したり式の意味を読みとったりする能力を培うとともに、文字を用いた式の計算ができるようにする。

エ 数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解し、式を用いて表すことを理解し、式を用いて表したり読み取ったりすること

◆解答類型 (1)

1◎	ア と解答しているもの	人	%
2	イ と解答しているもの		
3	ウ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆解答類型（2）

（正答の条件） 次の①，②を書いている。

- ① 各チームの $2a + b$ の値
- ② Q，R の値が同じで，他チームの値と比べて大きいこと

（正答例）

各チーム $2a + b$ の値を求めると，次のようになる。

Pチーム $2 \times 2 + 0 = 4$

Qチーム $2 \times 3 + 0 = 6$

Rチーム $2 \times 2 + 2 = 6$

Sチーム $2 \times 0 + 1 = 1$

Tチーム $2 \times 1 + 1 = 3$

QチームとRチームの値が6になり，他チームの値より大きいので，
両チームが同点で一位となる。

1◎	①，② を書いているもの	人	%
2○	② を書いてあり，①ではQ，Rチームの値のみを書いてあるもの		
3	① のみを書いているもの		
4	② のみを書いているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答 ○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答(準正答)

◆学習指導にあたって

事柄が成り立つ理由を，数学的な表現を用いて適切に説明できるようにしましょう。

- 数や図形について成り立ちそうな事柄を予想し，予想した事柄を正確に表現し文字式などを活用して事柄が成り立つ理由を説明したり，反例をあげて事柄が成り立たないことを示したりするという活動を取り入れることが大切です。
- 事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明する場合，根拠となる事実を示した上で，結論を述べるのが大切です。例えば，本問で，QチームとRチームの2チームが同点で1位になる理由を説明するためには，そのことを示す計算結果に加え，この2チームが「同点で1位になる」という結論を記述する必要があります。指導にあたっては，文字式を用いた説明や図形の論証の学習場面に限らず，数学科の学習全般にわたって，ことがらが成り立つ理由を説明する学習場面で，説明すべきことがらの根拠と，それによって説明される結論の両方を述べる機会を意図的に設定することが大切です。

中学校1年数学【8】解説シート

◆出題の趣旨

問題解決の方法や手順，事柄が成り立つ理由を，数学的な表現を用いて的確に説明できるかどうかをみる。

- ・一元一次方程式を解くことができそれを利用できるかどうかをみる。
- ・解が問題の答えとして条件を満たしているかを問題文と照らし合わせて判断できるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第1学年 A 数と式

(2) 文字を用いて数量の関係や法則などを式に表現したり式の意味を読みとったりする能力を培うとともに、文字を用いた式の計算ができるようにする。

エ 数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解し、式を用いて表すことを理解し、式を用いて表したり読み取ったりすること

(3) 方程式について理解し、一元一次方程式を用いて考察することができるようにする。

ウ 簡単な一元一次方程式を解くこと及びそれを具体的な場面で活用すること。

◆解答類型 (1)

1◎	$80(x+10)$ と解答しているもの	人	%
2	$x+10$ と解答しているもの		
3	$80x$ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答
(2)

1◎	5 と解答しているもの	人	%
2	3 と解答しているもの		
3	2.5 と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答
(3)

(正答の条件) 次の①, ②を書いている。

- ① 10分後の計算上の妹の進む距離
- ② ①が、家から駅までの道のり2000mをこえてしまうこと

(正答例)

兄が10分後に追いついたとすると、妹のいる地点が家から2400m進んだ所となり、家から駅までの道のりの2000mをこえてしまうので、問題にあわない。

1◎	①, ②を書いているもの	人	%
2	①のみを書いているもの		
3	②のみを書いているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

方程式の解が問題の答えとして適切なものであるかどうかを調べる必要性と方法を理解することができるようにしましょう。

- 問題解決の場面で方程式を利用する場合、方程式の解が問題の答えとして適切なものであるかどうか、調べる必要があるのはなぜか、それをどのように調べればよいかを理解することが大切です。方程式をつくるときに用いられていない問題の条件(家から駅までの道のり 2000m)に着目することによって、解が問題の答えとして適切なものであるかどうかを調べる必要性を理解し、解を問題の答えとするとその答えが条件を満たしているかどうかを問題文と照らし合わせて判断できるようにすることが大切です。また、問題の条件を変えると方程式の解が問題の答えとして適切でない場合があることを取り上げることも有効です。

平成二十六年年度 C 調査問題 中学校二年 国語

二年 () 組 () 番 氏名 ()

※答えは全て解答用紙に書きなさい。

問一 次の問題に答えなさい。

【一】次の文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書きなさい。

(1) 逆接のつなぎ言葉を考える。

(2) 赤飯を供える。

【二】次の文の——部のカタカナを漢字に直し、楷書でていねいに書きなさい。

(1) 大きなコウセキをあげる。

(2) 稚魚を川にハナす。

【三】次の文の意味が通るようにするために、最も適切なものを1から4までの中から一つ選びなさい。

(1) (1) 喚起 2 歓喜 3 換気 4 乾季) の声をあげる。

(2) (2) 下り坂で膝が(1) おこる 2 なく 3 すべる 4 わらう)。

問二 次にあげた、「動物園の動物」に関する二人の意見を読んで、後の問いに答えなさい。

《生徒A》

私は、動物園の動物はかわいそうだと思います。もともと自然の中に住んでいるはずなのに、人間の都合で檻おびに入れられて、自由を奪われています。狭い檻おびの中を歩き回っている姿を見ると、広い自然の中に帰りたいと言っているような気がします。また、中には芸を教えられている動物もいて、人間が楽しむための見世物にされている気がします。

《生徒B》

私は、動物園の動物はしあわせだと思います。野生の状態だと天敵におそわれることがあるので、いつでも危険に備えていなければならないけど、檻おびの中では、そういった心配はありません。それに、食事も十分与えられます。また、動物を見ることで気持ちを和らげたり、癒いやされたりする人がいるので、とても人の役に立っていると思います。

問三 次の〔資料1〕と〔資料2〕は同じ美術館にある注意書きです。これについて、あとの問いに答えなさい。

〔資料1〕美術館の注意書きの一部

作品を鑑賞する際には、次のようなことに注意してください。

全ての作品に著作権があります。また、フラッシュの使用は作品に悪い影響を与えます。したがって、作品の写真撮影は禁止です。携帯電話での撮影もご遠慮ください。

食べ物や飲み物が作品に付着するのを防ぐため、飲食類の持ち込みは禁止です。ガムやアメを口に含んでの鑑賞もお控えください。変色やカビの原因となりますので、花束などの植物の持ち込みもご遠慮ください。

〔資料2〕マークを使った美術館の注意書きの一部

A  ○ 携帯電話での撮影もご遠慮ください。

B  ○

○

【六】 資料を説明しているものとして、適切でないものを、次の1から4までの中から選びなさい。

- 1 「資料1」は、注意することと理由が文章でくわしく説明されている。
- 2 「資料1」は、大きく二つのことについて注意することが書かれている。
- 3 「資料2」は、マークの意味をくわしく説明した内容が簡条書きで補足されている。
- 4 「資料2」は、マークだけでは伝わらない注意することが簡条書きで補足されている。

【七】 「資料2」のBのマークには、どのような説明を補足すればよいですか。簡条書きで二つ書きなさい。

中学校2年国語【一】【二】解説シート

◆出題の趣旨

文脈に即して漢字を正しく読んだり書いたりすることができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

〔第2学年〕伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

(1) ウ 漢字に関する事項

(イ) 学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うこと。

◆解答類型

人 %

【一】	(1)	1◎	「ぎやくせつ」と解答しているもの		
		2	「ぎやくせつ」のうち「ぎやく」だけ正しく解答しているもの		
		3	「ぎやくせつ」のうち「せつ」だけ正しく解答しているもの		
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		
	(2)	1◎	「そな」と解答しているもの		
		2	「きょう」と解答しているもの		
		3	「とも(ども)」と解答しているもの		
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		
【二】	(1)	1◎	「功績」と解答しているもの		
		2	「功績」のうち「功」だけ正しく解答しているもの		
		3	「功績」のうち「績」だけ正しく解答しているもの		
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		
	(2)	1◎	「放」と解答しているもの		
		2	「話」と解答しているもの		
		3	「離」と解答しているもの		
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答 ○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答(準正答)

◆学習指導にあたって

漢字は、一字一字を正確に読み書きできるようにすることに加え、文脈の中で適切に使えるようにすることが大切です。そのためには、既習の漢字を積極的に使用したり、知らない熟語の意味をその漢字の訓読みから推測したりする機会を意図的に授業に取り入れることが大切です。実際に漢字を読んだり書いたりする機会を多くして、習熟を図るようにすることが求められます。なお、「常用漢字表」の改訂に伴い、中学校学習指導要領の「漢字に関する事項」が一部改訂されている(平成22年11月30日文科科学省告示第161号)ので、このことを踏まえて指導する必要があります。

(参照)

「4年間のまとめ【中学校編】」P.14～P.15, P. 111

http://www.nier.go.jp/4nenmatome/4nenmatome_chuu_siryoku_kokugo.pdf

「平成16年度特定の課題に関する調査(国語)調査結果」P.19～P.32

<http://www.nier.go.jp/kaihatsu/tokutei/04002010000004000.pdf>

「平成21年度【中学校】報告書」P.191～P.197

http://www.nier.go.jp/09chousakekkahoukoku/09chuu_data/shiryoku/09chuu_chousakekkahoukoku_sho_ikkatsu.pdf

「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力, 判断力, 表現力等の育成に向けて～【中学校版】」
国語-10, P.37～P.38

http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2011/05/31/1306150_10.pdf

「平成25年度【中学校】解説資料」P.70

http://www.nier.go.jp/13chousa/pdf/13kaisetsu_chuu_kokugo.pdf

中学校2年国語【三】解説シート

◆出題の趣旨

語句の意味を理解し, 文脈の中で正しく使うことができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

〔第2学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

(1) イ 言葉の特徴やきまりに関する事項

(イ) 抽象的な概念を表す語句, 類義語と対義語, 同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し, 語感を磨き語彙を豊かにすること。

◆解答類型

人 %

		人	%		
【三】	①	1◎	「2」と解答しているもの		
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		
	②	1◎	「4」と解答しているもの		
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答(準正答)

◆学習指導にあたって

語句についての理解を深めるためには, 語句の辞書的な意味を基にして, 話や文脈の中での意味を捉えることが大切です。そのためには, 話や文章の中で実際に使われている語句の意味を考え, 似た意味を表す別の言葉に言い換えてみるなどの学習活動が有効です。また, 語感を磨き語彙を豊かにするためには, 例えば, 類義語を取り上げ, 使う場面や伝えたい内容を考えた上で適切に使い分けたり, 「ことわざ辞典」などを活用し, 実際に話や文章の中でことわざや慣用句等を使ったりするなどの学習活動が考えられます。

(参照)

「4年間のまとめ【中学校編】」P.14～P.15, P.110

http://www.nier.go.jp/4nenmatome/4nenmatome_chuu_siryoku_kokugo.pdf

「平成21年度【中学校】報告書」P.199～P.200

http://www.nier.go.jp/09chousakekkahoukoku/09chuu_data/shiryoku/04_1_chuu_bunseki_kokugo.pdf

「平成21年度【中学校】授業アイデア例」P.2

http://www.nier.go.jp/09jugyourei/21_chuu_jugyou_idea_houkoku.pdf

「平成26年度【中学校】授業アイデア例」P.8

http://www.nier.go.jp/jugyourei/h26/data/mlang_02.pdf

中学校2年国語【四】【五】解説シート

◆出題の趣旨

文章の内容について、根拠を明確にして自分の考えを書くことができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

〔第2学年〕 B 書くこと

- (1) ウ 事実や事柄，意見や心情が相手に効果的に伝わるように，説明や具体例を加えたり，描写を工夫したりして書くこと。
- (2) イ 多様な考えができる事柄について，立場を決めて意見を述べる文章を書くこと。

◆解答類型

人 %

【四】	ア	1◎	「自由を奪われている」と解答しているもの			
		9	上記以外の解答			
		0	無解答			
	イ	1◎	「食事也十分に与えられている」と解答しているもの			
		9	上記以外の解答			
		0	無解答			
【五】	<p>(正答の条件)</p> <p>① 引用部分をかぎかっこ(「 」)でくくり，文章を書いている。 ② 意見の内容を踏まえて，自分が感じたことや考えたことを具体的に書いている。 ③ 80字以上100字以内で書いている。</p> <p>(正答例)</p> <p>Aを取り上げた例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒Aの意見に賛成だ。「自由を奪われています」とあるが，以前行った動物園のライオンは，広い草原を力強く走ることもできなくて，ずっとおりの中で静かに寝ていて，「かわいそうだな」と感じたことがあるからだ。(100字) <p>Bを取り上げた例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「食事也十分に与えられて」とあるが，これは本当に幸せなことだ。テレビで，えさがなくやせ細った野生動物の映像を見たことがある。体が弱ると「天敵におそわれ」やすい。だから，Bの意見に賛成だ。(93字) 					
	1◎	条件①，②，③を満たして解答しているもの なお，次のものも正答とする。 ・条件①について，引用箇所を省略して書いているもの(例示の下線部は関係箇所) (例) ・ 「狭いおりの中を～言っているような気がします」とあるが，以前に行った動物園では，ライオンはおりの中の同じ所を行ったり来たりしていた。とても寂しそうな目に見えた。だから，私はAに賛成だ。(92文字)				
	2	条件①，②を満たし，③を満たさないで解答しているもの				

3	<p>条件①, ③を満たし, ②を満たさないで解答しているもの (例1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 私は, B に賛成です。「動物を見ることで気持ちをやわらげたり, いやされたりする人がいるので, とても役に立っていると思います。」というところが, 私もそうだなと思いました。(82 字) * 感じたことや考えたことが具体的に書かれていない。 <p>(例2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「もともと自然の中に住んでいるはずなのに, 人間の都合でおりに入れられて, 自由をうばわれています。」とあるが, たしかに動物たちは人間の都合で自由を奪われていると思うので, A に賛成だ。(88 字) * 引用部分を繰り返して書いている。 		
4	条件②, ③を満たし, ①を満たさないで解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答(準正答)

◆学習指導にあたって

集めた材料を分類するなどして整理することは, 問題点を見いだしたり, 自分の考えをまとめた
りするために必要なだけでなく, 文章の構成を考える上でも効果的です。

友の意見などの整理したことを基に自分の考えを書く際には, 意見の具体的な内容を取り上げて,
話題に対する自分の考えを明確にすることが大切です。その際, 話題に対する賛否などを示すだけ
でなく, 自分の体験や知識などに基づいた具体例を挙げて, 自分の考えを分かりやすく書かせるこ
とが重要です。また, それが自分の考えの根拠として妥当であるか, その説明に不足はないかなど
を検討することが大切です。

(参照)

「平成 23 年度【中学校】授業アイデア例」P. 1～P. 2

http://www.nier.go.jp/11chousa/23_chu_koku_jugyourei.pdf

「平成 24 年度【中学校】国語 B 報告書」P. 184

http://www.nier.go.jp/12chousakekkahoukoku/04chuu-gaiyou/24_chuu_houkokusyo-4_kokugob.pdf

「平成 25 年度【中学校】授業アイデア例」P. 11～P. 12

<http://www.nier.go.jp/jugyourei/h25/pdf/junior-all.pdf>

「平成 26 年度【中学校】授業アイデア例」P. 13～P. 14

http://www.nier.go.jp/jugyourei/h26/data/mlang_05.pdf

中学校2年国語【六】【七】解説シート

◆出題の趣旨

文章の構成や表現の特徴を捉えることができる。
 ・目的に応じて必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

〔第2学年〕 C 読むこと

- (1) イ 文章全体と部分の関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。
- (2) イ 説明や評論などの文章を読み、内容や表現の仕方について自分の考えを述べること。

◆解答類型

人 %

【六】	1◎	「3」と解答しているもの			
	9	上記以外の解答			
	0	無解答			
【七】	ア	1◎	「ガムやアメを口に含んでの鑑賞も禁止です」又は「花束などの植物の持ち込みもご遠慮ください」と解答しているもの（アとイへ記述する順番は問わない。）		
		2	「食べ物や飲み物が作品に付着するのを防ぎます」等、理由を解答しているもの		
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		
	イ	1◎	「花束などの植物の持ち込みもご遠慮ください」又は「ガムやアメを口に含んでの鑑賞も禁止です」と解答しているもの（アとイへ記述する順番は問わない。）		
		2	「変色やカビの原因となります」等、理由を解答しているもの		
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答 ○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答(準正答)

◆学習指導にあたって

目的や意図に応じて必要な情報を収集する際には、文章の特徴を踏まえて本や文章の内容を捉えることが必要です。文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分けて、段落ごとに内容の大体を捉えたり、大きな意味のまとまりに分けて文章全体における役割を明らかにしたりする学習活動が大切です。

(参考)

「平成24年度【中学校】授業アイデア例」P.2

http://www.nier.go.jp/12chousakekkahoukou/08idea/24_chuu_jugyou_idea_houkouku.pdf

「平成24年度【中学校】国語A 報告書」P.150

http://www.nier.go.jp/12chousakekkahoukou/04chuu-gaiyou/24_chuu_houkokusyo-4_kokugoa.pdf

「言語活動の充実に関する指導事例集【中学校版】」国語－4，P.25～P.26

解答用紙

二年

組

番

氏名

問一

三	二	一
①	①	①
2	功績	ぎやくせつ
②		②
4	②	②
	放す	そなえる

正答数

問/12問

問二

[五]							[四]	
た	い	で	草	行	奪	生	イ	ア
こ	て	、	原	っ	わ	徒	自由を奪われている	
と	、	ず	を	た	れ	A		
が	「	っ	力	動	て	の		
あ	か	と	強	物	い	意		
る	わ	お	く	園	ま	見		
か	い	り	走	の	す	に		
ら	そ	の	る	ラ	」	賛		
だ	う	中	こ	イ	と	成		
。100	だ	で	と	オ	あ	だ		
	な	静	も	ン	る	。		
	「	か	で	は	が	「		
	と	に	き	、	、	自		
	感	寝	な	広	以	由		
	じ	て	い	い	前	を		

感じたことを具体的に書く

本文を引用し、「」でくくる

立場をはっきりとさせる

問三

[七]	[六]
イ	ア
3	
花束などの植物の持ち込みも遠慮ください。	ガムやアメを口に含んでの鑑賞も禁止です。

どちらを先に書いても正解

解答用紙 二年

組 番 氏 名

問一	(1)	ぎやくせつ	(2)	そなえる
問二	(1)	功績	(2)	放す
問三	(1)	2	(2)	4

正答数

問/12問

問四

ア 自由を奪われている。

イ 食事也十分に与えられている。

問五

生徒 A の意見に賛成だ。「自由を奪われていません」とあるが以前行った動物園のライオンは草原を力強く走ることもできないので、「かわいそうだな」と感じていたことがあるからだ。

問六

ア ガムやアメを口に含んでの鑑賞も禁止です。

イ 花束などの植物の持ち込みも遠慮ください。

どちらを先に書いても正解

立場をはっきりとさせる

本文を引用し、「」でくくる

感じたことを具体的に書く

《解説》

【一】【二】

・文の中で適切に読んだり、書いたりできるようにしましょう。音読みと訓読みがある漢字は、どちらも練習しておきましょう。

・「功績」の「績」は、「積」にならないように注意しましょう。「績」「積」にはどんな熟語があるか調べてみましょう。

【三】

(1) 「歓喜」を似た意味を表す別の言葉に言い換えてみましょう。

(2) 体に関する慣用句は他にもあります。辞書等を活用し調べ、実際に使ってみましょう。

【六】

・「資料2」Aのマークは、「カメラでの撮影禁止」ということしか分からないので、その横に情報を補足しています。選択肢124は、「資料1」【資料2】の特徴を説明しています。

【七】

・「資料1」の中から、「資料2」のBのマークでは伝わらないことはなんでしょうか。それぞれの資料から分かる情報を比較して整理してみましょう。理由は「資料2」にはいろいろな情報ですから、書きません。

【四】

・それぞれの意見を整理することは、問題点をはっきりとさせたり、自分の考えをまとめたりするために必要なことです。

【五】 次の三つの条件が全てそろっているか、確認しましょう。

1 引用する部分をかきかっ() 「」でくくり、文章を書いていること。(引用箇所を省略して書いてあるものも正答です。【例】「狭い檻の中を」と言っているような気がします」とあるが、(略))

2 Aの立場かBかの立場か、立場をはっきりさせ、その意見の内容を踏まえて、自分が感じたことや考えたことを具体的に書いていること。(Bの正答例)「食事也十分に与えられて」とあるが、これは本当に幸せなことだ。テレビで、えさがなくやせ細った野生動物の映像を見たことがある。体が弱ると「天敵におそわれ」やすい。だから、Bの意見に賛成だ。()

※次のようなものは、誤答です。

(1) Bの誤答例「私は、Bに賛成です。「動物を見る」ことで気持ちを和らげたり、いやされたりする人がいるので、とても役に立っていると思います。」というところが、私もそうだなと思いました。(なぜでしょう。「私もそうだな」と思いました)は、考えたことや感じたことが具体的に書かれていないからです。知識や体験と結びけながら自分の考えをもちましょ。

3 八十字以上百字以内で書いていること。限られた字数で自分の考えをしっかりと書けるようにしましょう。

平成 26 年度 C 調査問題 中学校 2 年数学 (1)

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

※答えはすべて解答用紙に書きなさい。

【 1 】 単項式で、かけあわされている文字の個数を、その式の次数といいます。

例えば、 $7ab$ の次数は 2、 $-4x^3$ の次数は 3 です。

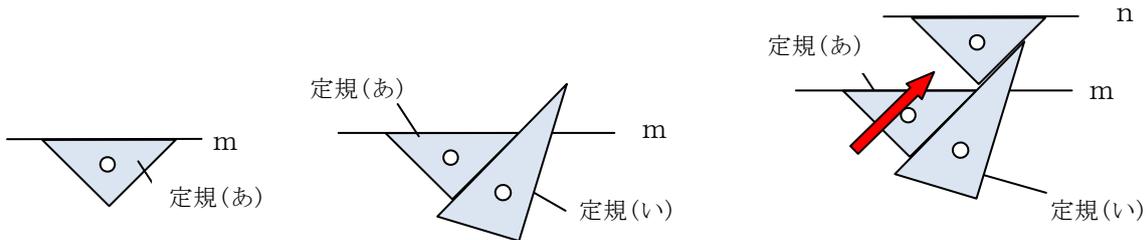
$-2a^3b$ の次数を書きなさい。

【 2 】 2 けたの自然数の十の位の数 x 、一の位の数 y とするとき、その 2 けたの自然数を表す式を、下のア～エまでのの中から 1 つ選びなさい。

ア	xy
イ	$x + y$
ウ	$10xy$
エ	$10x + y$

【 3 】 連立方程式 $\begin{cases} x + y = 8 \\ 2x + y = 11 \end{cases}$ を解きなさい。

【 4 】 下の①、②、③の手順で、直線 m に平行な直線 n をひきます。



① 直線 m に合わせて、定規 (あ) を置く。

② 定規 (あ) に合わせて、定規 (い) を置く。

③ 定規 (い) を動かさずに、定規 (あ) を定規 (い) に沿って動かし、直線 n をひく。

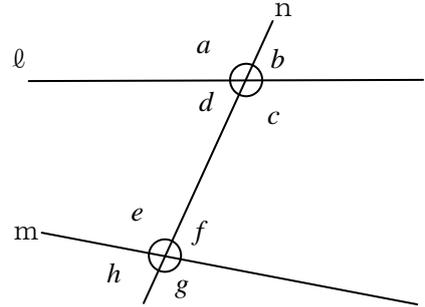
上の①、②、③の手順では、直線 m に対する平行な直線 n をどのような事柄を根拠にしてひいていますか。下のア～エまでのの中から正しいものを 1 つ選びなさい。

- | | |
|---|--|
| ア | 2 直線に 1 つの直線が交わるとき、同位角が等しければ、2 直線は平行である。 |
| イ | 2 直線に 1 つの直線が交わるとき、錯角が等しければ、2 直線は平行である。 |
| ウ | 1 つの直線に垂直な 2 直線は平行である。 |
| エ | 1 つの直線に平行な 2 直線は平行である。 |

平成 26 年度 C 調査問題 中学校 2 年数学 (2)

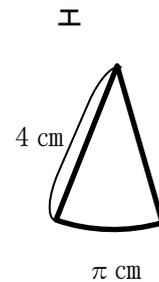
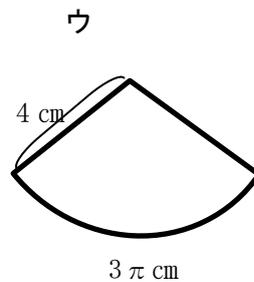
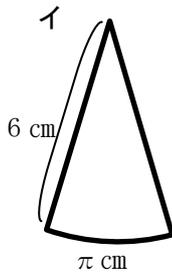
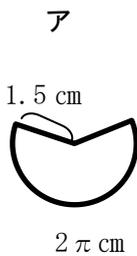
2 年 () 組 () 番 氏名 ()

- 【5】 右の図について、 $\angle e$ の錯角をアルファベットで答えなさい。



- 【6】 おうぎ形の弧の長さを l 、半径を r とすると、面積 S は、 $S = \frac{1}{2}lr$ で表すことができます。

このことを利用して、弧の長さが 2π cm、半径が 3 cm であるおうぎ形と面積が等しくなるおうぎ形を **ア** から **エ** の中から 1 つ選びなさい。



- 【7】 食品を冷たいままに保つクーラーボックスがあります。太郎さんは、この中によく冷えた缶ジュースを入れたとき、時間がたつにつれて缶ジュースの温度が、どのように変化するか調べた結果を、下の表にまとめました。

時間 (分)	30	50	70	90
温度 (°C)	9	10	11	12

そして、「時間を決めると、それにもなって温度がただ 1 つ決まる」という関係があると考えました。

下線部を、次のように表すとき、 ① と ② に当てはまる言葉を書きなさい。

① は ② の関数である。

- 【8】 グラフの切片が -2 である一次関数の式を、下の **ア** ~ **オ** までの中から 1 つ選びなさい。

ア $y = -2x$ イ $y = 2x$ ウ $y = 3x - 2$ エ $y = -2x + 2$ オ $y = -\frac{2}{x}$

平成 26 年度 C 調査問題 中学校 2 年数学 (3)

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

【9】 右のカレンダーで、いろいろな数の並びを考え、その性質を見つけます。

例えば、右のように横に並んだ 3 つの整数の和は、
 $5 + 6 + 7 = 18$, $22 + 23 + 24 = 69$ など
 いつでも中央の整数の 3 倍になりそうです。

このことを太郎さんは、次のように考えて説明しました。

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

<考え>

中央の整数の 3 倍になることを説明するには、3 と中央の整数の積になることをいえばいい。

<説明>

横に並んだ 3 つの整数のうち、一番小さい整数を n とすると、
 3 の整数は、 n , $n + 1$, $n + 2$ と表される。

したがって、3 つの連続する整数の和は、

$$\begin{aligned} n + (n + 1) + (n + 2) &= n + n + 1 + n + 2 \\ &= 3n + 3 \\ &= 3(n + 1) \end{aligned}$$

$n + 1$ は中央の整数で、3 と中央の整数の積で表される。

だから、横に並んだ 3 つの整数の和は、中央の整数の 3 倍になる。

(1) 花子さんは、このことを説明するのに、3 つの整数の表し方を太郎さんとは変えて計算したところ、 $3(n - 1)$ となりました。花子さんが考えた整数の表し方として、正しいものを下のア～ウの中から 1 つ選びなさい。

- ア 一番小さい整数を n とした。
- イ 中央の整数を n とした。
- ウ 一番大きい整数を n とした。

(2) 右のように、たてに並んだ 3 つの整数の場合でも、
 3 つの整数の和は、中央の整数の 3 倍になります。
 このことを以下のように説明しました。
 説明を完成させなさい。

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

<説明>

たてに並んだ 3 つの整数のうち、一番小さい整数を n とすると、

3 つの整数は、 n , $n + 7$, $n + 14$ と表される。したがって、たてに並んだ 3 つの整数の和は、

$$n + (n + 7) + (n + 14) =$$

(解答用紙に書きなさい)

だから、たてに並んだ 3 つの整数の和は、中央の整数の 3 倍になる。

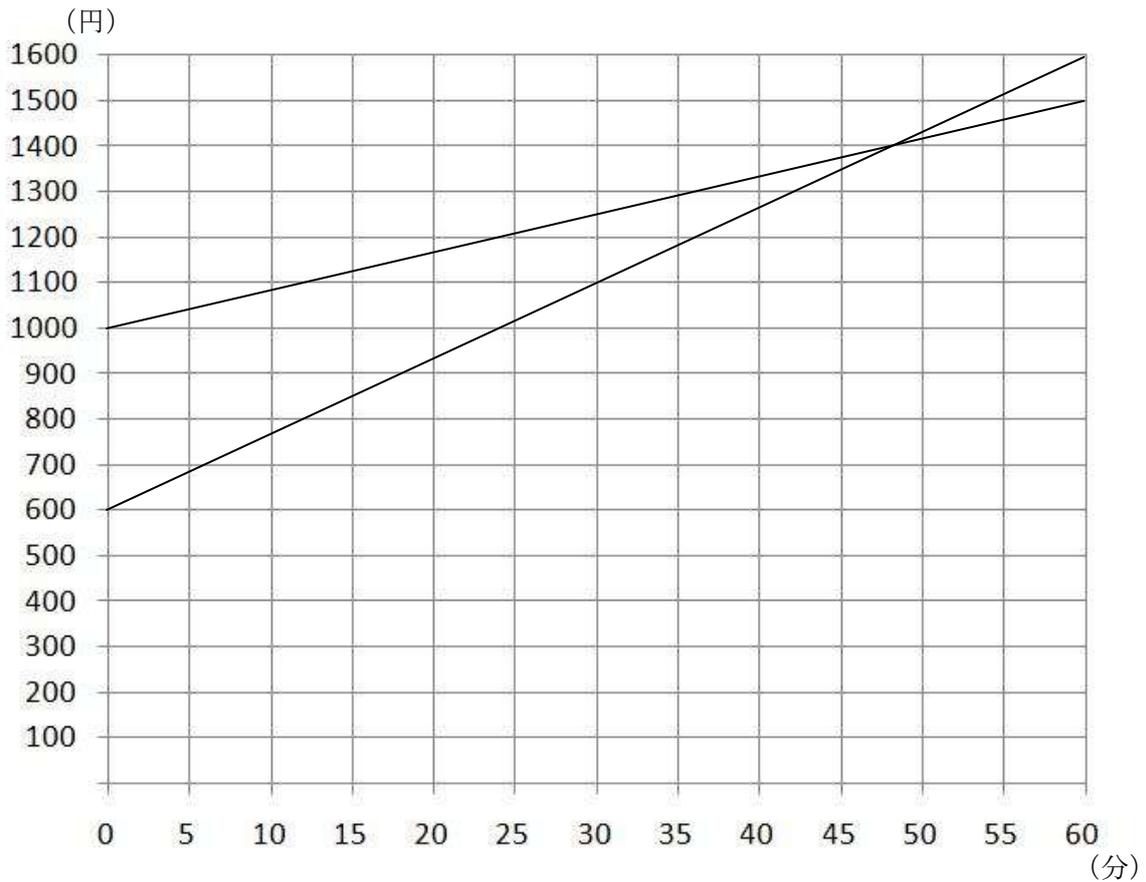
平成 26 年度 C 調査問題 中学校 2 年数学 (4)

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

【10】 下のグラフは、携帯電話の会社の A 社、B 社の通話時間と支払料金の関係をグラフに表したものです。A 社も B 社も、基本料金 (まったく通話しなくても支払わなければならない料金) と通話時間に比例してかかる通話料金の合計が支払料金となります。

A 社は、月額の基本料金が 1000 円で、60 分通話すると 500 円の通話料金がかかり、その月の支払料金は 1500 円となります。B 社は、月額の基本料金が 600 円で、60 分通話すると 1000 円の通話料金がかかり、その月の支払料金は 1600 円となります。

次の (1) , (2) の問いに答えなさい。



(1) 通話時間を x 分、支払料金を y 円として、B 社について y を x の式で表しなさい。

(2) 太郎さんは、1 ヶ月の平均通話時間が 55 分です。支払料金を安くするには、A 社、B 社の 2 社のうち、どちらの会社の携帯電話を選んだ方がよいでしょうか。その理由を 2 つの会社のグラフを比較して、説明しなさい。

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

正答数

問/12 問

【1】 4

【9】
(1) ウ

【2】 エ

【3】 $x = 3$
 $y = 5$

両方でき
て正答。

【4】 ア

【5】 $\angle C$

【6】 イ

【9】
(2)

たてに並んだ 3 つの整数のうち、一番小さい整数を n とすると、3 つの整数は、 n 、 $n+7$ 、 $n+14$ と表される。したがって、たてに並んだ三つの整数の和は、

$$\begin{aligned} & n + (n + 7) + (n + 14) \\ &= n + n + 7 + n + 14 \\ &= 3n + 21 \\ &= 3(n + 7) \end{aligned}$$

$n + 7$ は中央の整数で、
3 と中央の整数の積で表される。

だから、たてに並んだ三つの整数の和は、
中央の整数の 3 倍になる。

①②③が
書いてあ
れば正答。
(①③の
みの場合
も正答と
する。)

【10】
(1) $y = \frac{50}{3}x + 600$

約分していないも
のは誤答とする。

【7】 ① 温度
② 時間

両方でき
て正答。

【8】 ウ

【選んだ会社…A社】

【説明】 $x=55$ のとき、B社よりもA社のグラフの
yの値が小さいので、A社の方が料金が
安いから、A社を選んだ方がよい。

①55 という数値や 55 分という記述
②グラフにおける y の値で A と B を比較する記述
(例 ; B 社より A 社のグラフの y の値が小さい。
; A 社より B 社のグラフの y の値が大きい。)
①②が書いてあれば正答。
(同じ意味ならば言葉は違ってもよい。)

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

正答数

問 / 12 問

【1】

【9】
(1)

【2】

【3】

$x =$

$y =$

【4】

【5】

∠

【6】

【9】
(2)

たてに並んだ 3 つの整数のうち、一番小さい整数を n とすると、3 つの整数は、 n 、 $n + 7$ 、 $n + 14$ と表される。したがって、たてに並んだ 3 つの整数の和は、

$$n + (n + 7) + (n + 14)$$

$$=$$

だから、たてに並んだ 3 つの整数の和は、中央の整数の 3 倍になる。

【10】
(1)

$y =$

【7】

①

②

【10】
(2)

【選んだ会社… _____ 社】

【説明】

【8】

中学校 2 年数学【1】解説シート

◆出題の趣旨

計算の意味や用語の意味等について理解しているかどうかをみる。
 ・ 次数の意味を理解しているかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第2学年 A 数と式

- (1) 具体的な事象の中に数量の関係を見だし、それを文字を用いて式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を養うとともに、文字を用いた式の四則計算ができるようにする。
 ア 簡単な整式の加法、減法及び単項式の乗法、除法の計算をすること。

◆解答類型

1◎	4 と解答しているもの	人	%
2	3 と解答しているもの		
3	2 と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

用語等の意味を確実に理解できるようにしましょう。

各単元における内容・用語等の知識について確実に定着させるには、授業の終末でのまとめが大切です。毎時間、まとめの時間を確保し、内容や用語について正しい言葉で板書し、生徒が学習カードやノートに書いてまとめるだけでなく、必ず定着状況を確認を行うことが必要です。

指数を含む文字式の意味について理解しているかどうかをみるためには、具体的な数を代入し、式の値を求める活動を取り入れることが考えられます。

中学校 2 年数学【2】解説シート

◆出題の趣旨

与えられた文字式の意味を、読み取ることができるかどうかをみる。
 ・ $10x + y$ が 2 けたの自然数を表していることを理解しているかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第2学年 A 数と式

- (1) 具体的な事象の中に数量の関係を見だし、それを文字を用いて式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を養うとともに、文字を用いた式の四則計算ができるようにする。
 イ 文字を用いた式で数量及び数量の関係をとらえ説明できることを理解すること。

◆解答類型

1	ア と解答しているもの	人	%
2	イ と解答しているもの		
3	ウ と解答しているもの		
4◎	エ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

事柄や数量の関係を文字式で表したり，その文字式の意味を読み取ったりすることができるようにしましょう。

様々な問題解決の場面で文字式を利用する際に，事象における数量の関係や法則を文字式で表したり，文字式で表された事柄や数量の関係を読み取ったりすることができるように指導することが大切です。

そのために，具体的な数や言葉を使った式を利用して数量の関係をとらえ，文字式で表したり，その意味を解釈したりする場面を設定することが考えられます。

中学校 2 年数学【3】解説シート

◆出題の趣旨

簡単な方程式(一元一次方程式，連立方程式，二次方程式)を解くことができるかどうかをみる。
・簡単な連立方程式を解くことができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第2学年 A 数と式

- (2) 連立二元一次方程式について理解し，それを用いて考察することができるようにする。
ウ 簡単な連立二元一次方程式を解くこと及びそれを具体的な場面で活用すること。

◆解答類型

1◎	$x=3, y=5$ と解答しているもの	人	%
2	x か y のいずれかが正解であるもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

解が適切であるか，確かめたり吟味したりすることができるようにしましょう。

方程式や連立方程式，二次方程式を解く際に，適切な方法で正しく解くことは大切ですが，解の意味を理解し，もとの式に代入して確かめたり，解が条件を満たしているかを吟味したりすることができるようにしましょう。

例えば，求めた解が本当に正しいかを生徒に問い返して，どうすれば確かめられるのかを確認する場を設けることが考えられます。そして，どこで間違えたのかを振り返り，途中式を書き残すことの重要性にも触れることが大切です。こうした活動を日常化することで，着実な計算力と解の妥当性を検証する力が付くと考えられます。

中学校 2 年数学【4】解説シート

◆出題の趣旨

事象の根拠となる数学的な性質を見いだすことができるかどうかをみる。

- ・同位角が等しければ2直線は平行であることを理解しているかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第2学年 B 図形

(1) 観察, 操作や実験を通して, 基本的な平面図形の性質を見だし, 平行線の性質を基にしてそれらを確認することができるようにする。

ア 平行線や角の性質を理解し, それに基づいて図形の性質を確認説明すること

◆解答類型

1◎	ア と解答しているもの	人	%
2	イ と解答しているもの		
3	ウ と解答しているもの		
4	エ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

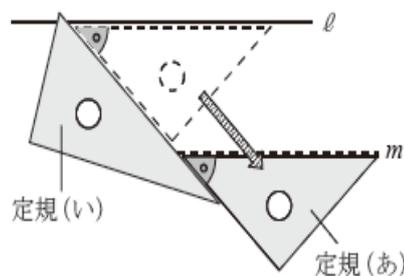
◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

作図の方法を図形の性質(平行線と角についての性質)に着目して見直すことができるようにしましょう。

例えば, 2枚の三角定規を使って平行線をひく場面では, 直線 l に対し直線 m が平行であることの根拠として, 平行線になるための条件「2直線に他の直線が交わってできる同位角が等しければ, この2直線は平行である。」が用いられていることを理解できるようにすることが大切です。

ここでは, 三角定規の1つの角に着目し, 動かす前と後の位置がそれぞれ三角定規を使ってひいた2直線の同位角であることを見いだせるようにすることが必要です。



また, 平行になることの根拠として, 平行線の性質「平行な2直線に他の直線が交わったときにできる同位角は等しい。」を用いる生徒がいると考えられるので, 平行線の性質と平行線になるための条件を適切に用いることができるようにすることも大切です。

同様なことは平行四辺形の性質と平行四辺形になるための条件など他の図形についてもいえるので, 図形の性質を考察する際には, 図形について成り立つ性質と図形になるための条件を適切に用いることができるようにしましょう。

中学校 2 年数学【5】解説シート

◆出題の趣旨

平面図形における性質や用語の意味等について理解しているかどうかをみる。

- ・ 錯角の意味を理解しているかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連第

2 学年 B 図形

(1) 観察, 操作や実験を通して, 基本的な平面図形の性質を見だし, 平行線の性質を基にしてそれらを確認することができるようにする。

ア 平行線や角の性質を理解し, それに基づいて図形の性質を確認説明すること

◆解答類型

1◎	∠ C と解答しているもの	人	%
2	∠ a と解答しているもの		
3	∠ g と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

錯角, 同位角, 対頂角など, 角の名称と位置関係を正しく理解できるようにしましょう。

具体的な図を用いて, もとの角を変えながら, 錯角や同位角, 対頂角を答える場を設定し, 角の名称と位置関係を正しく理解できるようにすることが必要です。

中学校 2 年数学【6】解説シート

◆出題の趣旨

数量の関係を見だし, それを文字を用いて式に表現したり式の意味を読み取ったりできるかどうかをみる。

- ・ 文字を用いた式で数量(等しい面積になるおうぎ形)について, 公式をもとに等しい数量を表したものを選ぶことができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第 2 学年 A 数と式

(1) 具体的な事象の中に数量の関係を見だし, それを文字を用いて式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を養うとともに, 文字を用いた式の四則計算ができるようにする。

イ 文字を用いた式で数量及び数量の関係をとらえ説明できることを理解すること。

◆解答類型

1	ア と解答しているもの	人	%
2◎	イ と解答しているもの		
3	ウ と解答しているもの		
4	エ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

面積や体積の公式と図を対応させて理解できるようにしましょう。

面積や体積の公式を、単に文字式として記憶するのではなく、実際の図と対応させて理解することが大切です。そのために、作図をしたり模型を用いたりして、図形や立体と対応させて考える場面を設定することが考えられます。

中学校 2 年数学【7】解説シート

◆出題の趣旨

独立変数と従属変数の関係を的確に捉え、その関係を「～は～の関数である」と表現できるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第2学年 C 関数

(1) 具体的な事象の中から二つの数量をとりだし、それらの変化や対応を調べることを通して、一次関数についての理解を深めるとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を培う。

◆解答類型

1◎	①に 温度(缶ジュースの温度) と解答し、 ②に 時間(たった時間) と解答しているもの	人	%
2	①に 時間(たった時間) と解答し、 ②に 温度(缶ジュースの温度) と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

2つの数量の変化を関数の視点から捉え、その内容についての理解を深めることができるようにしましょう。

指導に当たっては、表を観察することなどを通して、「時間を決めると、それにもなって温度がただ1つ決まる」ことから、「温度は時間の関数である。」ととらえ直すことができるようにすることが大切です。その際、独立変数(時間)と従属変数(温度)を区別し、「…は…の関数である。」という形で表現する場面を設定することが考えられます。

中学校 2 年数学【8】解説シート

◆出題の趣旨

関数についての用語の意味を理解しているかどうかをみる。

・切片が b である一次関数の式は $y = ax + b$ で表されることを理解しているかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第2学年 C 関数

- (1) 具体的な事象の中から二つの数量をとりだし、それらの変化や対応を調べることを通して、一次関数についての理解を深めるとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を培う。
イ 一次関数について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解すること。

◆解答類型

1	ア と解答しているもの	人	%
2	イ と解答しているもの		
3◎	ウ と解答しているもの		
4	エ と解答しているもの		
5	オ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

一次関数の式の特徴を表やグラフと関連付けて理解できるようにしましょう。

一次関数を式で表すことができるようにすることが大切です。例えば、傾きが a 、切片が b である一次関数の式は $y = ax + b$ で表されることや、傾きや切片の意味の理解を深める場面を設定することが考えられます。また、表、式、グラフを相互に関連づけながら、傾きや切片の意味を確認する活動を通して、一次関数の式の特徴を理解できるように指導することも考えられます。その上で、比例、反比例の式と一次関数の式を比べることによって、比例、反比例、一次関数について学び直す機会を設定することが考えられます。

中学校2年数学【9】解説シート

◆出題の趣旨

事象を数学的に表現したり、数学的に表現された結果を事象に即して解釈したりすることを通して、事柄が成り立つ理由を筋道立てて説明することができるかどうかをみる

◆学習指導要領との関連

第2学年 A 数と式

- (1) 具体的な事象の中に数量の関係を見だし、それを文字を用いて式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を養うとともに、文字を用いた式の四則計算ができるようにする。
イ 文字を用いた式で数量及び数量の関係をとらえ説明できることを理解すること。

◆解答類型 (1)

1	ア と解答しているもの	人	%
2	イ と解答しているもの		
3◎	ウ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

解答類型（2）

<正答の条件> 次の(a), (b), (c) について記述しているもの (a) 三つの整数の和を, $3(n+7)$ と表す。 (b) $n+7$ が中央の整数であること。 (c) 3と中央の整数の積で表せること。			
1◎	(a), (b), (c) について記述しているもの	人	%
2○	(a), (c) のみ記述しているもの		
3	(a) のみ記述しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答 ○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答(準正答)

◆学習指導にあたって

事象を数学的に表現したり, 数学的に表現された結果を事象に即して解釈したりすることができるようにしましょう。

事象を数学的に考察できるようにするために, 数量の関係や法則などを式に表したり式を事象に即して解釈したりする活動を取り入れることが考えられます。

例えば, 本問題を利用して, 太郎さんの説明から, ()の中はどのような数であるかを問い, そのことから3つの整数の表し方を考える活動などが考えられます。

事柄が成り立つ理由を事象に即して説明できるようにしましょう。

事柄が成り立つ理由を事象に即して説明できるようにするために, 事柄の意味を事象に即して読み取り, 読み取った意味に基づいて, 説明する事柄(B)とその根拠(A)を明確に区別し, 「(A)であるから, (B)である。」のように的確に表現できるようにすることが考えられます。

例えば, 本問題を利用して, 囲み方を変えたり, 数を5つにしたりして, 言えそうな性質について説明する活動などを位置付けましょう。

中学校2年数学【10】解説シート

◆出題の趣旨

2つのグラフの様子を的確にとらえ, 判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第2学年 C 関数

(1) 具体的な事象の中から二つの数量をとりだし, それらの変化や対応を調べることを通して, 一次関数についての理解を深めるとともに, 関数関係を見だし表現し考察する能力を培う。

イ 一次関数について, 表, 式, グラフを相互に関連付けて理解すること。

エ 一次関数を用いて具体的な事象をとらえ説明すること。

◆解答類型

(1)

1◎	$y = \frac{50}{3}x + 600$ と解答しているもの	人	%
2	$y = \frac{25}{3}x + 1000$ と解答しているもの		
3	$y = \frac{5}{6}x + 600$ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

(2) (①, ②は, 右の正答の条件による)

1◎	A社を選択し, ①, ②について記述しているもの (結論はなくてもよい。以下同様。)	人	%
2	グラフに着目して記述しているが, A社が選ばれる根拠として誤りがあるものや, グラフの読み取りに誤りがあるもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

(正答の条件)
2社のグラフを比較して, 次のことについて記述しているもの。

【A社を選択】

①55という数値や55分という記述

②グラフにおけるyの値で, A社とB社を比較する記述

※②は正しいことを記述していること
<例>

- ・A社のグラフのyの値がB社より小さい。
- ・B社のグラフのyの値がA社より大きい。

◆学習指導にあたって

式とグラフを関係づけて理解できるようにしましょう。

生徒にとって身近な場面での問題においては, 文章で表された事柄とグラフの傾き, 切片との対応がつかないことも多いと考えられます。「基本料金は, グラフではどのように表されているのか」「傾きは, 問題分の中の何を表しているのか」など生徒に問い返し, 確認する場を設けることで, 文中の言葉とグラフ, グラフと式を関連付けて理解できるようにすることが大切です。

判断の理由を数学的な表現を用いて的確に説明できるようにしましょう。

説明する事柄(B)とその根拠(A)を明確に区別し, 「(A)だから(B)である」のように的確に説明できるようにすることが大切です。

また, 生徒の説明には日常的な表現が多くみられるので, これらを数学的に表現することで, よりの確な説明になるよう見直す場面を設定することが考えられます。例えば, 「A社を選らぶ」ことの根拠として, 「A社の方が安いから。」という生徒の表現を取り上げ, 「安い」ことについて話し合う場面を設定し, 「yの値が小さい」「グラフのy座標がより下になる」など数学用語を用いて表現できることを確認することが考えられます。

平成 26 年度 C 調査問題 中学校 2 年英語

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

1 次の英文を読んで、【1】から【7】に答えなさい。(答えは、すべて解答欄に書きなさい。)

<中学生の由美(Yumi)のペンフレンド、オーストラリアに住むナンシー(Nancy)からの手紙です。>

August 10

Dear Yumi,

Thank you for your letter. In the letter, you wrote about your summer vacation. Are you enjoying your summer vacation? I know it's summer in Japan now, but A. We had some snow in the Australian Alps yesterday. It was very beautiful.

Last Sunday my family and I ① (go) to the zoo in Sydney. There were many animals there. Koalas are very famous in Australia. I love them very much, because they are very cute. I took many koala pictures. I had a good time there.

I ② (visit / going / am / to) Japan next year, so I am studying Japanese very hard now. My mother, Jane, is my Japanese teacher. She can speak Japanese very well. She teaches me Japanese every ③ (土曜日) and Sunday. Now I can speak Japanese a little, and I can read *hiragana* and *katakana*.

I am looking forward to visiting Japan next year. I want to know more about Japan. Please tell me more about it. Please write to me again soon.

Your friend,
Nancy

[注] wrote : 書いた (write の過去形) the Australian Alps : オーストラリアアルプス山脈
zoo : 動物園 Sydney : シドニー animal : 動物 koala : コアラ cute : かわいい
There were : ~がいた famous : 有名な took : (写真を) 撮った (take の過去形) hard : 熱心に
a little : 少し am looking forward to : ~を楽しみにしている more : もっと
write to me : 返事を書く

【1】下線部①の () 内の語を、最も適切な形になおして1語で書きなさい。

【2】下線部②が意味の通る英文になるように、() 内の4語を並べかえて書きなさい。

【3】下線部③が「土曜日」の意味を表すように、() 内に正しい英語1語を書きなさい。

◇本文の内容について【4】、【5】の質問に英語で答えなさい。答えは() 内に1語ずつ書きなさい。

【4】 Did Nancy have a good time at the zoo?

() , () () .

【5】 Who is studying Japanese very hard now?

() is.

【6】 前後の文のつながりを考えて、A 内に当てはまる最も適切な文をア～エの中から一つ選び、記号を書きなさい。

- | | |
|---|---|
| { | ア it's summer in Australia
イ it's hot in Japan
ウ it's winter in Australia
エ it's cold in Japan |
|---|---|

【7】本文の内容に当てはまる文をア～エの中から一つ選び、記号を書きなさい。

- ア この手紙は、8月10日に由美が書いたものである。
イ オーストラリアアルプス山脈に雪が降ったのは、8月9日である。
ウ ナンシーと彼女の母は、日本語を上手に話すことができる。
エ ナンシーは、日本について興味がない。

2 次の【8】から【10】に答えなさい。(答えは、すべて解答欄に書きなさい。)

【8】次の対話が自然な流れになるように、に当てはまる最も適切な英文を、下のア～エから1つ選び、記号を書きなさい。

Teacher : I watched the big soccer game on TV at nine last night.

What were you doing then?

Hanako : I was singing in my room

Teacher : Singing? Why?

Hanako : Yes, I am. I have to practice every day at home.

Teacher : I see. Good luck, Hanako.

※Good luck : 頑張って

- ア Are you going to have a music test soon?
イ Will you have a music test soon?
ウ Will you have a soccer game soon?
エ Are you going to have a soccer game soon?

【9】Tom と Jiro は、明日の予定について話をしています。

話の流れに合うように、にあてはまる英語1文を考えて4語以上で書きなさい。

Tom : Do you have any plans for tomorrow?

Jiro : No, I don't. How about you?

Tom :

Jiro : That sounds nice. Can I go with you?

※That sounds nice. : いいですねえ。

【10】あなたは、今週末に東京に行く予定であるとします。東京でしてみたいことを次の条件に従って書きなさい。

① 1文目は、あなたがしたいことについて、I want to で始まる4語以上の英語で書くこと。

② 2文目は、1文目に関してさらに情報を付け加えた内容の4語以上の英語で書くこと。

解答用紙

正答数

問/10問

平成 26 年度 C 調査問題 中学校 2 年英語

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

[解答欄]

1	【1】		
	【2】		
	【3】		
	【4】	(), () ().	
	【5】	() is.	
	【6】		【7】
2	【8】		
	【9】		
	【10】		

正答（例）

正答数

問／10問

平成26年度 C調査問題 中学校2年英語

2年（ ）組（ ）番 氏名（ ）

[解答欄]

1	【1】	went		
	【2】	am going to visit		
	【3】	Saturday		
	【4】	(Yes), (she) (did).		
	【5】	(Nancy) is.		
	【6】	ウ	【7】	イ
2	【8】	ア		
	【9】	【例】 I will play tennis in the afternoon. その他の解答例 ・ I'll go shopping in Nagano. ・ I am going to play soccer tomorrow. 等		
	【10】	【例】 I want to go to Tokyo Skytree.		
【例】 It's very tall and famous.				

その他の解答例

1文目： I want to go to the big bookstore.
2文目： I will buy my favorite books.

1文目： I want to see pandas in Ueno.
2文目： I like them very much. 等

中学校 2 年英語【1】解説シート

◆出題の趣旨

時制に応じて動詞を活用できるかどうかをみる問題である。ここでは、Last Sunday に着目して動詞を過去形に直すこと、一般動詞 go が不規則動詞であるので、went に変化させることが求められる。

◆学習指導要領との関連

2 内容

(3) 言語材料

エ 文法事項 (エ) 動詞の時制など

現在形、過去形、現在進行形、過去進行形、現在完了形及び助動詞などを用いた未来表現

◆解答類型

1 ◎	went と解答しているもの	人	%
2	語尾に ed をつけ解答しているもの		
3	語尾に s(es)をつけ解答しているもの		
4	語尾に ing をつけ解答しているもの		
5	want (など綴りミス) と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

一般動詞の過去形について、現在形と比較しながら口頭練習を十分に行った後、過去形の文章になおして書かせることで定着を図りましょう。

◇カード、絵、写真などを用いて、一般動詞の過去形と現在形を比較させながら口頭練習をしたり、現在形の文章を過去形の文章になおしたりすることで理解・定着を図りましょう。

【口頭練習の例】

①一般動詞の現在形と過去形が書かれたカードを順番に見せて口頭練習を行う。

play→played watch→watched go→went see→saw

②カードの語句を見せて【基本文1】を過去形になおして口頭練習を行う。

【基本文1】He yesterday. (カード) play baseball / go to Tokyo

③カードの語句を見せて【基本文2】を過去形の文章にして口頭練習を行う。

【基本文2】 ① ② ③ (カード) ① I You He She
 ② play tennis go to Osaka
 ③ yesterday last week

She went to Osaka last week.

◇現在形を用いて「普段の生活」について書く活動をした後、過去形を用いて「昨日したこと」や「夏休みにしたこと」など、過去の出来事についての日記等書く活動を位置付けるなどして、それぞれの用法の違いに気付かせた上で、過去形の定着を図りましょう。

中学校 2 年英語【2】解説シート

◆出題の趣旨

助動詞などを用いた未来表現 [主語+be 動詞+going to+動詞の原形]の定着をみるものである。ここでは、next year に着目し、「訪問する予定です」という内容になることをとらえ、未来表現を使って並べかえることが求められる。

◆学習指導要領との関連

- (3) 言語材料 エ 文法事項
 (エ) 動詞の時制など <助動詞などを用いた未来表現>
 We are going to play basketball after school. など。

◆解答類型

1 ◎	am going to visit と解答しているもの	人	%
2	am going visit to と解答しているもの		
3	going am to visit と解答しているもの		
4	visit am going to と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

英語と日本語の語順の違いを意識させながら、「主語+助動詞+動詞+目的語」+「場所+時」の語順に着目させましょう。

◇文法事項の説明のみでなく、必要に応じて、文の語順についても指導しましょう。

「私は来年日本を訪問する予定です」を英文にしてみよう。

英語は、「主語+動詞」の順に並べるんだな。

主語になりそうな語はどれかな。

「～は」が主語だから、「私は」の I だな。

動詞になりそうな語はどれかな。

「～する」が動詞だから「訪問する」が動詞かな。だから visit かな。

時制は何かな。

「訪問する予定です」だから未来形だ。英語では be going to を使うんだっとな。

どう並べたかな。to の後はどうなるかな。

主語が I だから be 動詞は am。I am going to ・ ・ で to のあとは to+動詞の原形だから visit だ。

英文全体を言ってみよう。

I am going to visit Japan next year になる。

◇口頭で確実に言えるようになるまで十分練習した後、学んだ表現を用いて書く活動を行いましょう。その際、「主語と動詞の関係」や「時制」を観点に自己評価できるように指導しましょう。

中学校 2 年英語【3】解説シート

◆出題の趣旨

中学 1, 2 年生で指導する語を英語で正しく書く力をみる問題である。ここでは、「(土曜日)」という「曜日」の名称を正しく書くことが求められる。

◆学習指導要領との関連

(3) 言語材料 ウ 語, 連語及び慣用表現

(ア) 1,200 語程度の語

(イ) in front of, a lot of, get up, look for などの連語

(ウ) excuse me, I see, I'm sorry, thank you, you're welcome, for example などの慣用表現

◆解答類型

1 〇	Saturday と解答しているもの	人	%
2	Sataday, Satadey, Saturdey 等の綴りの誤りがあるもの		
3	saturday と単語の始まりを小文字で解答しているもの		
4	他の「曜日」の名称を解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

〇解答として求める条件すべてを満たしている正答

◆学習指導にあたって

曜日, 月, 数字などの基本的な語句は, 日本語との違いや発音と綴りの関係に留意させながら指導しましょう。また, 学習カードやノートに書いて確認する工夫をして定着を図りましょう。

◇日常生活でよく用いられる曜日, 月, 数字のような基本的な語句を発音した後, 綴りを確認しながら正しく書く場面を仕組みましょう。

7つの曜日が英語で言えるかな。

サンデー, マンデー, チューズデー, ウェズデー, サズデー・・・。

しっかりと言えていますね。では, 7つの曜日を英語で書いてみよう。

サンデーだから “Sandeï” かな・・・。綴りを確認してみよう “Sunday” だ。発音と綴りは違う!!

“Wednesday” は [d] と 2 つめの [e] は発音していません。注意して書いてください。

“W-e-d-n-e-s-d-a-y” 綴りは「ウェドネズデー」で覚えよう。発音は「ウェズデー」だ。注意して覚えよう。

◇授業開始時に, 日付, 曜日, 時間などを全体で確認し, 学習カードや授業用ノートにその日の日付を英語で書いたり, 家庭学習の際にも, 家庭学習用ノートやプリントに英語で日付, 曜日を書いたりするなど, 日常的に書く工夫をして定着を図りましょう。

◇小テスト等で基本的な語句の定着状況を確認しましょう。

中学校 2 年英語【4】解説シート

◆出題の趣旨

英語で書かれた本文の内容について、簡単な質問を理解し、Yes か No を使って適切に答えることができるかどうかをみる問題である。ここでは、本文中の **I had a good time there.** に着目すること、Nancy を代名詞の **she** に変えること、**Did** が疑問文の文頭にきているため、答えの文末も **did** になることが求められる。

◆学習指導要領との関連

2 内容

(1) 言語活動

- ウ 読むこと (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。
- エ 書くこと (ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。

(3) 言語材料 エ 文法事項 (ア) 文

- d 疑問文のうち、動詞で始まるもの、助動詞 (can, do, may など) で始まるもの、or を含むもの及び疑問詞 (how, what, when, where, which, who, whose, why) で始まるもの

◆解答類型

1 ◎	Yes she did と解答しているもの	人	%
2	Yes～did と解答しているが、主語が she でないもの		
3	Yes she ～と解答しているが、文末が did でないもの		
4	No ～と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件すべてを満たしている正答

◆学習指導にあたって

尋ねられたことに対し、どのように答えればよいのかを理解させ、言語活動を繰り返す中で確実に身に付けることができるように指導しましょう。

◇be 動詞と一般動詞の yes-no 疑問文と、その応答の仕方について基本的な特徴を理解させることに留意し、聞いたり読んだりしたことなどについて問答するような言語活動に繰り返し取り組めるようにしましょう。その際、尋ねられた部分だけを答えるのではなく、フルセンテンスで答えたり、答えを書いて確認させたりするなどして、確実な定着を図りましょう。

尋ねられた内容について Yes かな No かな。

尋ねられた内容が述べられている部分を見つけ、内容に照らし合わせて判断しよう。

答えの文ではどの代名詞を使えばよいかな。

Nancy についてだから、she を使うといいな。

答えの文の文末はどんな形かな。

be 動詞の疑問文の答えの文末は is, am, are, was, were だ。一般動詞の疑問文の答えの文末は do, does, did 等だな。ここでは、Did で尋ねられているから、答えの文末に did をつけて答えればよさそうだな。

中学校 2 年英語【5】解説シート

◆出題の趣旨

英語で書かれた本文の内容について、疑問詞を使った簡単な質問を理解し、適切に答えることができるかどうかをみる問題である。ここでは、疑問詞 Who は「だれ」なのかを尋ねていることが分かり、そこから本文中の **so I am studying Japanese very hard now.**に着目することができること、また、その主語 I が Nancy を表していることを読み取り、適切に答えることが求められる。

◆学習指導要領との関連

2 内容

(1) 言語活動

- ウ 読むこと (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。
- エ 書くこと (ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。

(3) 言語材料 エ 文法事項 (ア) 文

- d 疑問文のうち、動詞で始まるもの、助動詞(can, do, may など) で始まるもの、or を含むもの及び疑問詞 (how, what, when, where, which, who, whose, why)で始まるもの

◆解答類型

1 ◎	Nancy (is) と解答しているもの	人	%
2	Yumi / Jane (is)と解答しているもの		
3	Yes / No (is)と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件すべてを満たしている正答

◆学習指導にあたって

wh-疑問文とその応答の仕方について、口頭練習や書く活動で確実に身に付けさせましょう。

◇教科書本文の内容についての QA 活動では、Yes / No 疑問文に加え、5W1H についても問うようにしましょう。また、ア short answer, イ full answer のそれぞれのパターンでの答え方について、口頭だけでなく書かせることで確実に身に付けさせましょう。

- ①疑問詞を使った簡単な質問（疑問文）の意味が理解できているか確認しましょう。
- ②文中のどの英文についての質問なのか、根拠となる英文にアンダーラインを引く習慣を身に付けさせましょう。
- ③教科書本文のQA活動などで、5W1Hなどの様々な疑問文に対して書いて答えることができるようにしましょう。
- ④答え方の2つのパターンを示しながら、口頭練習や書く活動の中で確実な定着を図りましょう。

(例) Nancy is studying Japanese very hard now.の英文に対して、Who is studying Japanese very hard now? と発問。

→答え方(例)として、ア Nancy is. イ Nancy is studying Japanese very hard now. この場合、Nancy.とした解答は不正解とせず、質問の内容を理解しているととらえ、上記の答え方(例)ア、イのような正しい英文で答えられるように指導しましょう。

中学校2年英語【6】解説シート

◆出題の趣旨

英語で書かれた本文の内容について、その概要を読み取ることができるか。本文の中から手がかりとなる語句や表現を見つけ、それをもとに、選択肢の中から適切な英文を選択することができるかどうかをみる問題である。ここでは、書き手の Nancy が I know it's summer in Japan now, と述べていることと、文頭にある接続詞 but から判断すること、また、オーストラリアと日本の季節は逆であるという知識から判断して適切に選べるかどうか求められる。

◆学習指導要領との関連

(1) 言語活動

ウ 読むこと (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。

◆解答類型

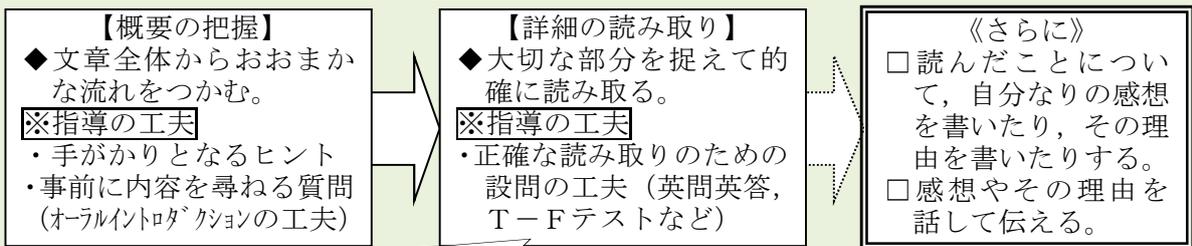
1	ア と解答しているもの	人	%
2	イ と解答しているもの		
3◎	ウ と解答しているもの		
4	エ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件すべてを満たしている正答

◆学習指導にあたって

3種類の質問を用いながら、概要の把握から詳細の読み取りへと読み深めていきましょう。

◇「読むこと」の指導では、書き手が伝えたいことを正確に読み取ることが大切です。そのために主人公は誰か、話がどのように展開していくのか、おおまかな流れをつかんだ上で、大切な部分を捉えて的確に読み取る力を付けていきましょう。その際、まず、【概要の把握】として、キーワード等をもとに内容を推測し、それらを関連させて概要をつかませます。次に【詳細の読み取り】として、事実や事柄を的確に捉えさせるために、設問を工夫するなどして詳細を理解できるようにします。さらに、「読んだ」感想を「書いて」まとめたり、「書いた」事柄を「話して」伝えたりするなど、他の領域の言語活動と関連付ける指導の工夫も大切です。



3種類の質問 (fact-finding Q, inferential Q, personal Q) を段階的に用いていきましょう。

中学校2年英語【7】解説シート

◆出題の趣旨

英語で書かれた本文の内容について読み取ることができるか。本文の中から手がかりとなる語句や表現を見つけ、それをもとに、選択肢の中から英文内容に適したものを選択することができるかどうかをみる問題である。ここでは、Nancy が手紙を書いた日付が August 10 であり、We had some snow in the Australian Alps yesterday. と述べていることに着目し、選択肢の中からイが選べるかどうか求められる。

◆学習指導要領との関連

(1) 言語活動

ウ 読むこと (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。

◆解答類型

1	ア と解答しているもの	人	%
2◎	イ と解答しているもの		
3	ウ と解答しているもの		
4	エ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件すべてを満たしている正答

◆学習指導にあたって

2種類の読み方 (Skimming と Scanning) を用いて、正確な読み取りにつなげましょう。

◇中学校学習指導要領解説 外国語編 言語活動の指導事項 ウ 読むこと

(ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること より

「例えば、物語では、どんな登場人物がいるのか、主人公は誰か、話がどのように展開していくのかなど、大まかな流れをつかみながら読み取ったり、説明文では、特に中心となる事柄など大切な部分をとらえて的確に読み取ったりすることである。」



◇指導の具体

読む目的と題材内容に応じて2種類の読み方ができるよう、指示や発問を工夫しましょう。

◎Skimming (大まかな流れをつかみながら読む) を使った読ませ方

- ・ 5W1H を中心に読み取っていけるように、登場人物などのキーワードに○を付けさせたり、時系列に出来事を表にまとめていくなどして読み取らせていく。

◎Scanning (中心となる事柄など大切な部分を捉えて読む) を使った読ませ方

- ・ 手がかりとなる語句や表現をヒントとして与えたり、事前に内容を尋ねる質問をしたり、また設問の仕方に工夫をしたりするなどして読み取らせていく。

中学校2年英語【8】解説シート

◆出題の趣旨

会話内容にまとまりをもたせながら、積極的に会話を継続し発展させていく力をみる問題である。ここでは、Hanako の I was singing in my room. という発話に対して教師が Singing? Why? と反応し、会話を継続していく場面で、その後の Hanako の Yes, I am. から判断して、Are you ~? の文を、また I have to practice every day at home. から判断して、その理由である Are you going to have a music test soon? という英文が選べるかどうかをみる問題である。

◆学習指導要領との関連

(1) 言語活動

イ 話すこと (エ) つなぎ言葉を用いるなどのいろいろな工夫をして話を続けること。

◆解答類型

1◎	ア と解答しているもの	人	%
2	イ と解答しているもの		
3	ウ と解答しているもの		
4	エ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件すべてを満たしている正答

◆学習指導にあたって

普段からつなぎ言葉や相づちをうつ表現に慣れ親しませながら、会話を継続する大切さを実感できるような場面設定や指導の工夫をしていきましょう。

◇場面設定を明確にし、目的をもたせた上で対話活動を行うことで、必要な表現や技法を用いて会話を継続・発展させていけるように指導の工夫をしていきましょう。

- ① 帯活動などを通して、話を継続したり発展させたりすることに慣れ親しませる。
 - ・ Let's see. や Well, など、会話を続けるために用いられる表現を練習する。1分間対話などの帯活動を位置付ける。使えた表現を蓄積し、コミュニケーション活動の前に例示するなどして、常に生徒が意識できるようにする。
- ② 下記のように、「いろいろな工夫」をして気持ちや考えを伝える、理解するよさを教師がモデルとして示したり、指導したりする。
 - ・ 会話を続けたり発展させたりするために、相手に質問をしたり、聞き返したり、知らない表現については、身振り手振りや既習の表現などを使い、何とかして自分の考えを伝えようとする。
 - ・ 話し手が話しやすいように、聞き手が I see. や Sure. など、相づちをうつ表現を適宜用いるようにする。
 - ・ 聞き手の理解が進むように、話し手が、I went to Tokyo. OK? と確認したり、I like apples. Do you like apples? と聞き手に問い返したりする。

中学校 2 年英語【9】解説シート

◆出題の趣旨

問答の意味を理解し、条件に合うように英語を使って適切に応じ、書くことができるかどうかをみる問題である。

◆学習指導要領との関連

(1) 言語活動

イ 書くこと (イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。

正答例

例 1) I will play tennis in the afternoon.
例 2) I'll go shopping in Nagano.

◆解答類型

1◎	明日の予定について、Jiro が「That sounds nice. 」と答え、かつ「Can I go with you? 」と問い返せるように、Tom の発話について、英語 4 語以上の 1 文を書くことができる。	人	%
2	明日の予定について、Jiro が「That sounds nice. 」と答え、かつ「Can I go with you? 」と問い返せるように、Tom の発話について、英語 4 語以上の 1 文を書いているが、英文に文法的な間違いがある。または、文法的には正しいが、英語 4 語以上ではない。		
3	明日の予定について、Jiro が「That sounds nice. 」と答え、かつ「Can I go with you? 」と問い返せるように、Tom の発話を書いていない。		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件すべてを満たしている正答

◆学習指導にあたって

コミュニケーション活動を行う際は、話し手や聞き手の意向を正しく理解して取り組めるよう適切な場面を設定し、考えや気持ちなどを正しく伝え合う活動を行きましょう。

◇考えや気持ちを伝え合う活動においては、具体的な場面や状況に合った適切な表現を自ら考えて言語活動ができるよう工夫しましょう。

- ①言語材料について理解したり練習したりする活動では、機械的なドリルだけでなく、具体的な場面を設定し、その場面にふさわしい表現を生徒自らが考えたり選択したりして使うことができるようにする。
- ②考えや気持ちを伝え合う意欲を大切に、「正確さ」だけでなく「適切さ」を観点に表現を振り返るような場を授業に位置付けていく。
- ③帯活動等で、既習事項を活用してコミュニケーションを図る場を意図的に設定する。

中学校2年英語【10】解説シート

◆出題の趣旨

東京でしてみたいことについて、指定された条件に合わせて英語2文で書くことができるかどうかをみるものである。ここでは、書く内容を構想する力、正しく文を書く力が求められる。

◆学習指導要領との関連

2 内容 (1) 言語活動

エ 書くこと (エ) 身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちなどを書くこと。

正答例

例1) I want to go to Tokyo Skytree. It's very tall and famous.

例2) I want to go to the big bookstore. I will buy my favorite books.

◆解答類型

①, ②, ③については下の正答の条件を参照してください。

正答の条件 (地名も含め未習語は、ローマ字表記でもよい。)

- ① 1文目は、I want to で始まる文であり、2文目はさらに情報を付け加える文である。また、2文とも4語以上で書いてあり、語順が正しい。
- ② 2文とも、動詞の活用についての綴りミスをしていない。
- ③ 動詞の活用以外の単語に綴りミスをしていない。

		人	%
1◎	①, ②, ③をすべて満たすもの		
2○	①, ②を満たすもの		
3	文法的な間違いがあるが、内容的に理解できる2文が書かれているもの		
4	内容的にも文法的にも正しいが、1文だけ書かれているもの		
5	綴り及び大文字・小文字の間違いがあるが、内容的に理解できる1文が書かれているもの		
6	文法的な間違いがあるが、内容的に理解できる1文が書かれているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件すべてを満たしている正答 ○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答(準正答)

◆学習指導にあたって

「まとまりのある文章を正しく書く」ために、段階を踏んで指導していきましょう。

- ① 身近な事柄や自分の考え、気持ちなどを表すために必要な文法事項や表現等を教科書で学習したあと、生徒が書く必要感や目的がもてる場を設定した上で、書く活動を位置付けましょう。
- ② 書く見通しをもたせるために、教科書本文をもとに書く型を示したり、教師のモデルから活用できる表現に気付かせたりするなどの指導の工夫をしましょう。
- ③ 文の完成後は、観点を明確にして生徒同士で読み合ったり、教師が添削をしたりして、生徒が英文の内容や構成、正しさに目を向けるような場面を位置付けましょう。
- ④ 英文を正しく書く力の定着を図りましょう。
 - ・完成した英文を読んだり発表したりする活動を位置付け、文の語順や英文同士のつながりなどに着目できるよう指導しましょう。
 - ・家庭学習は、授業で学習した内容をもとに課題を出しましょう。